

2020年(令和2年)4月14日(火曜日)

介助犬普及後押し  
募金やはがき寄付

J Aあいち尾東

【あいち尾東】J Aあいち尾東は4月上旬、管内店舗39カ所に募金箱を設置して集めた寄付金13万2000円と、書き損じや未使用の郵便はがき147枚を、日本介助犬協会に贈呈した。日進市のJ A本店で贈呈式を開き、J Aの石黒秀一組合長が同協会の森田英守常務に寄付金を手渡した。



訓練中のP R犬「きらら」が同席した。

寄付は、J A管内の長久手市に介助犬総合訓練センター「シンシアの丘」があることから始めた活動で、今年で10年目となる。

森田常務は「寄付金は

森田常務(左)に寄付金を渡す石黒組合長と、P R犬「きらら」

介助犬の育成、普及に活用し、一人でも多くの人に幸せになってもらえるよう活動していく」と話した。石黒組合長は「介助犬を多くの人に知っていただけるよう、これからも活動支援に取り組みたい」と語った。

J Aでは、介助犬の認知度向上と地元農業のP Rのため、例年開かれる「介助犬フェスタ」に出展しているが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となった。今後、同協会は介助犬の認知度向上を目指し、動画投稿サイト「YouTube」による生配信を行う予定だ。